

手作りの催しに園児を招待

合同生活科「ましゅうランドへようこそ」



かみひこうきやさん(上)とどうぶつたたき(下)

町内6つの小学校の1、2年生が集まり、お店屋さんごっこを楽しみ「ましゅうランドへようこそ」が12月1日、弟子屈小学校で行われました。生活科の授業の一環で、コミュニケーションの大切さを学ぶことを目的に、毎年行われているものです。弟子屈、川湯両小学校の1年生と、和琴、美留和、奥春別、昭栄の各小学校の1、2年生、合わせて66人が参加しました。

児童は9つのグループに分かれて、どうぶつたたきやゴルフ、おぼけ屋敷などのお店を開店。招待された町内の保育園・幼稚園児65人をお客さんとなり、各お店を回りました。ゲームの内容は児童が自分たちで考え、景品なども含めて手作りで準備したほか、当日は店番も体験。園児を相手に接客を行いました。また、他校児童との交流も深めました。

花いっぱいのに

第16回花壇コンクール表彰式



表彰式の様子

入賞者の皆さん

入賞者には、170点の花壇がエントリーされました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ▽ 一般の部
 - ▽ 町長賞 / 永谷理恵子(屈斜路)
 - ▽ 議長賞 / 井関枝美(美里4)
 - ▽ 教育長賞 / 竹内英利(中央3)
 - ▽ 自治会連合会長賞 / 館書店
- ▽ 自治会の部
 - ▽ 町長賞 / 川湯敷島自治会
 - ▽ 議長賞 / 高台自治会
 - ▽ 教育長賞 / 泉自治会
 - ▽ 自治会連合会長賞 / 川湯第2自治会
- ▽ 学校の部
 - ▽ 町長賞 / 弟子屈小学校
 - ▽ 議長賞 / 和琴小学校
 - ▽ 教育長賞 / 奥春別小学校

弟子屈町摩周フラワーマスタ協会(渡邊昇会長)主催の第16回花壇コンクール表彰式が11月26日、公民館で行われました。

今年是一般の部に加えて、自治会の部と学校の部を新設、昨年より90点

町の話題



町の話題



宣言文を手渡す美留和小学校児童会長の阿部実央子さん

貴重な自然を次代へ

4 郵便局・美留和小学校・弟子屈中学校が自然の番人宣言



認定証を受け取る美留和郵便局の浪岡局長(右)

証が徳永町長から各局長に手渡されました。

自然の番人宣言は、廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどから貴重な自然環境を守り、将来に継承していくことを目的に、2006年に管内全8市町村共同で行っています。趣旨に賛同し、同宣言を行った事業所や団体は、自然環境保全の取り組みを行っていくこととなります。

また12月9日には美留和小学校(山内雅恵校長)、12日には弟子屈中学校(吉田亨校長)も同宣言を行いました。

これにより、町内で自然の番人宣言を行った事業所や団体は25となりました。

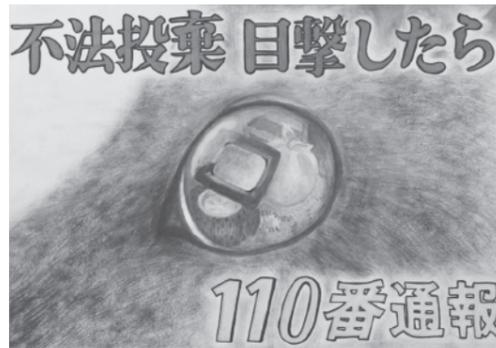
弟子屈郵便局(藤原将男局長)、美留和郵便局(浪岡雅彦局長)、川湯郵便局(酒井盛興局長)、屈斜路郵便局(東出清和局長)が自然の番人宣言を行いました。認定式は12月5日、役場で行われ、釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会からの認定

宣言文を手渡す弟子屈中学校生徒会長の谷岡尚貴君(中央)

町の話題



町の話題



最優秀賞の佐々木さんの作品
エジシカの目に不法投棄されたタイヤやテレビなどを映している

会長賞に釧路市の佐々木さん

自然の番人ポスターコンクール審査会

釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会主催のポスターコンクール審査会が11月29日、公民館で行われました。

自然の番人宣言は、廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどから貴重な自然環境を守り、将来に継承していくことを目的に、2006年に管内全8市町村共同で行っています。ポスターコンクールは、子どもたちに環境保護への関心を高めてもらうことと、宣言から5年を迎え、あらためて事業を周知することを目的に行われました。

コンクールには、管内市町村の小・中学生から376点の応募があり、最優秀賞の釧路管内市町村「自然の番人宣言」推進委員会会長賞には、釧路市立大楽毛中学校2年の佐々木優佳さんの作品が選ばれました。他に優秀賞11点、佳作20点が選ばれました。本町からの入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ▽ 優秀賞 / 小澤きよね(弟子屈中1年)
- ▽ 佳作 / 本間由奈(和琴小2年)、齋藤力(川湯小2年)、松田夏希、高橋希歩(以上弟子屈中1年)、住田莉乃(同2年)、阿部加奈子(同3年)



審査会の様子

11月14日

地域の役に立ちたい 摩周植物園が社会貢献活動



倒木の恐れのある樹木を処理
（南摩周植物園(古瀬廣幾代表取締役)の皆さんが11月14日、町長公宅横の町有地(中央2)の整備を行いました。社会貢献活動の一環として行ったものです。立ち枯れし、倒れる危険性のある樹木1本の伐採を行いました。伐採後の樹木の運搬から処理まで、とても丁寧に作業を行っていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

12月18日

認知症への理解を深めよう 認知症を学ぶ絵本コンサート



絵本の朗読を通して認知症を考える
弟子屈町介護者と共に歩む会「菜の花会」(笹島久美代表)主催の「認知症を学ぶ絵本コンサート」が12月18日、屈斜路研修センターで行われました。認知症への理解を深めてほしいと開催されたもので、町内では三度目の開催です。認知症ケア研究会が制作した絵本の朗読と、ギターの渡辺健二さん、リコーダーを楽しむ会(佐藤仁代表)の演奏で構成。絵本の朗読は、和琴小学校(合田晃子校長)の児童が行いました。また、川湯の森病院理事長の斎藤浩記氏(精神科医)から認知症やその対応などについての話もあり、集まった皆さんは熱心に聴き入っていました。

12月20日

地域災害の応急・復旧活動を支援 北海道電気保安協会が町と協力協定を締結



協定書を交わす大内理事長(左)と徳永町長
町と一般財団法人北海道電気保安協会による災害時協力協定手交式が12月20日、役場で行われました。式では徳永町長と同協会の大内全理事長が協定書を交換しました。協定は、自然災害や大規模災害が発生、あるいは発生の恐れがある場合に、公共工事の電力復旧工事や必要な調査、応急対応に関して同協会が町に協力する目的で締結したものです。同協会は、平成22年9月から道内各自治体と協定を結んでいます。大内理事長は「災害が起こらないことが一番だが、万が一のときに組織全体で協力したい」と話していました。

11月26日～12月8日

高速道の整備状況や役割に理解を深めてほしい 道東自動車道パネル展を開催



パネル展で道東道をPR
北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会(会長・蝦名大也釧路市長)主催の道東自動車道パネル展が、11月26日から12月8日にかけて役場ロビーで開催されました。道東自動車道の整備状況や役割などをPRするとともに、利用を促進する目的で、毎年開催されています。訪れた皆さんは、パンフレットを手にとったり、興味深げにパネルに見入ったりしていました。

12月20日

地域の皆さんと共に楽しいひととき ケア・サポートまつやまでクリスマス会



保育園児のかわいい踊りに笑顔
川湯温泉の高齢者向け住宅、ケア・サポートまつやまで12月20日、クリスマス会が行われました。入所者の皆さんは、クリスマスらしい食事をいただきながら、地域の方による劇や紙芝居などを楽しみました。特に、川湯保育園(清水節子園長)の園児による歌と楽器、踊りの披露には目を細め、一緒に体を動かす方もいました。会場にはサンタクロースも登場。サンタクロースから園児一人一人にプレゼントが手渡され、皆さんにとって楽しいひとときとなりました。

長年にわたり暴力追放運動に貢献

高田中さんに暴力追放荣誉銅章



喜びを語る高田さん(左)

弟子屈町暴力追放運動推進協議会会長の高田中さん(76歳・中央1)が、全国暴力追放運動推進センターの平成23年暴力追放荣誉銅章を受章しました。同章の受章は町内からは初めてです。表彰は11月29日、平成23年全国暴力追放運動中央大会(東京都)の席上で行われました。高田さんは、警察や関係団体と協力して硫黄山の不法販売行為の撤去に尽力するなど、長きにわたって安心・安全なまちづくりに寄与したとして今回の受章となりました。12月5日に役場を表敬訪問した高田さんは「協力してくれた皆さんの代表として受章したと思う。大変光栄です」と話していました。

町の話題



町の話題

花を通して人権を考える

弟子屈小学校の人権の花への取り組み



力作がそろった絵画展

弟子屈小学校人権の花絵画展が、12月2日から9日にかけて公民館ロビーで開催されました。人権の花運動は、子どもたちの情操を豊かにし、思いやりの心を育むことを目的に釧路人権擁護委員協議会が主催しているもので、今年度は弟子屈小学校(伊藤新一校長)が選ばれました。同校では6月、同協議会から贈られた花の苗を4年生が植栽。その後も世話を怠りませんでした。今回の絵画展は、大切に育てた人権の花を4年生が写生し、展示したものです。また、人権の花に関する一連の取り組みに対し、釧路人権擁護委員協議会から同校へ感謝状が贈られました。贈呈式は12月14日、同校で行われ、弟子屈町人権擁護委員の朝日英明さん、小澤修子さん、小泉裕さん、4年生代表の小杉山遥月さんと前澤寿弥君に、感謝状と記念品が手渡されました。



感謝状の贈呈式